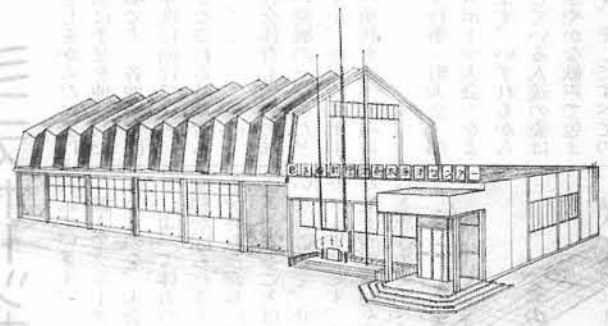


B & G財団津奈木海洋センター

町民の大きな期待のなかで

8月完成をめざして2月23日に盛大に起工式
まず体育館とプール、引き続き艇庫



体育館完成予想図

1月25日に行われました海洋センター施設に伴うB & G財団説明会においても力説されました「B & G財団の条件はひとつです、それは町民の皆さんに出来るだけ多く使って頂くことです」国民総医療費の増大、体力低下の問題、青少年の健康問題（自閉症、高血圧、心臓病等の増加）そして児童生徒の登校拒否、不良、非行化は目に余るものがあり誠に由々しい問題です。「国の将来をなう青少年をスポーツ、レクリエーションで心身を練磨してほしい。」

第4回B & G「若人の船」に
本町から17名参加

3月21日、30日と
3月30日、4月9日
の2回に分けて、男
子10名女子7名が海
外体験航海に参加し
ます。その為の事前
研修会が3月25日に
開かれました。

マニラ、
香港へ

かも青い海と緑の大地で……と、皆さんの活発な使用を期待します。

B & G財団の条件はひとつ
それは「高い使用率」

既に総合グラウンド（現在ソフトボール二面の夜間照明施設を設置中）と合わせますと一大運動公園となり、町民のみならず各地住民の体力づくりと親睦を深めるのに大きく貢献すると同時に、明日を青少年の健全育成の場として重要な役割を果たす施設となります。

海洋スポーツの普及、さらに前進、町民皆スポーツ

すでに津奈木干拓では体育館の基礎コンクリート柱の打ち込みのカーンカーンという音が、澄み切った春の空にこ

津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（代表）3111番
編集 編集委員会
印刷所 旭印刷所
電話（水保）③4101番



本町の
海洋センターも
こんな感じ



胸はずむ本町のメンバー



児童生徒に関する教育問題が新聞に出ない日が珍らしくなった。まさか、うちの子が何かの問題ではないか、というのが問題を起した親の一般的な言葉のようで、最後まで自分の子はそんな事はしていないという親も。また「ああいう親なら、家庭なら」と簡単に言ってしまう傾向がないで、自分の子とよく見えても自分の子となると本当にむづかしい。日常生活の流れの中で微妙な心と行動の変化をキャッチして、親として適切な指導が出来ればと常々考え、実践はするものの言葉で言うようにそう簡単にはいかない。○非行の低年齢化と大人顔負けの犯罪は私の子供時代からして想像できないものが多くある、勿論全く問題がなかった訳ではないが○今の学校も誠に大変であるが、指導は毅然とした態度でやってほしい、そして保護者も一体となって導かなければならない。○また、家庭教育の欠如が今の子どもを生んだと言ったのも、うなずける、親子の対話をさらに深めねばと強く思う。○社会教育も重要で要は一人ひとりの大人が如何に子どもに対処するかに係っていると思う。うちの子も更に見つめてみたい。

(M)

津奈木の芸術



赤崎校区全景

赤崎日当 岩崎 津熊氏

昭和十一年岩崎さんが、二十一才のときの作品で今赤崎小学校の玄関の壁に飾られている。この構図は当時岩崎さんが愛用されていたドイツ製のカメラで写し、その乾板（ガラス製の感光板）を手製のスライドで用紙に映し模写されたものである。

絵の左手前の広場と建物が当時の小学校だそう。その後昭和十三年に今の赤尾島に移転（現校舎の前の建物）したので、これが最後の絵であろう。赤崎小学校では、前校舎についても岩崎さんに写生をお願いしてあったよう。一応デッサンは完了（これは写真を拡大器で作成）したものの彩色の途中で健康を損なわれ未完成のままになっている。なお同氏は本欄で紹介した故斎藤寛、林勝氏等と同級生である。

36年目の中国（天津・北京）

天津市は先年の地震で災害をうけ、その復興が進められていた。そのような中で通訳氏らは、「右側のレンガの擁壁は、旧日本軍が構築した要塞です。銃眼が見えるでしょう」と。日中戦争から四十年余りたつた今なお残って（残されて）いる要塞、私達の気持ちを察してか、彼はつづけて「日中戦争のことは忘れましょう。あれは一部の旧軍人の過ちであって、あなた達には罪はありません」と。そして「山川異域、風月同天」という言葉を教えてくれた。

それから私達は、えんえんと築かれた万里の長城、封建の世の宮殿「故宮」、いま中国の政治の拠点「天安門」等を見学し、36年ぶりに訪れた中国に、もろもろの感慨を胸に秘めて帰路についた。完

鶴田幸人



名木紹介(椿)

樹令推定 二百年 幹 囲 一米三十六
樹 高 約五米 管理者 諫山貢氏(日添)



第二回「少年の主張」

郷土愛 県大会に入選

津中三年 鬼塚 千賀子さん

私たちは、以前郷土について話したことがあります。その時、いろんな意見が出てきました。

「郷土愛なんてあまり感じない」という人もいれば、「こんな田舎に生れるよりも、都会に生れたかった」という友達もいました。なにかに、昔に比べて、私たち若者たちの郷土に対する考え方は、変わってきているように思います。

郷土に関心を持たない理由として、いろんなことが考えられるでしょう。しかし、ふるさとへの愛がたがは、故郷を離れて、初めて知るものなのでしょうか。

「かにかくに渋谷村は恋しかり おもいで山 おもい

また外国へ行った人は、たいてい、「港に、日の丸の旗をたてた汽船がはいつてくるのを見ると、涙が出る」ということを聞いたことがあります。

日本を離れると、一時的にせよ、愛国心を感ずるようです。これは、日本との距離を

私達は日頃、ふるさとへの特別な気持はいだかなくて、スポーツの世界でも、自

然に郷土の選手を応援するうちに、無意識のうちに郷土を愛する心を持っていると思

だから、それぞれの心の中にある無意識的な愛国心や、郷土愛を意識化することによって、郷土を愛する心を育てていかなければならないと私は思うのです。そのためにはやはり郷土の歴史と文化を私たち若者は正しく理解し、運命共同体としての自覚を心の中にうけ付けることが、必要だと思ひます。(後略)

肥後狂句

堀 双岳選

だまれ、あんまり額を出すな嫌

こるが最後、そして末雄とトメが出来

だまれ、後の方は聞こえんぞ

こるが最後、羽織はかまも質屋行き

だまれ、嫌が云うとも聞いて見ろ

こるが最後、違反すれ選挙戦

だまれ、ぬしが言うとはくどすぎる

こるが最後、後はなににも言わんばな

だまれ、酔喧話は受つけん

こるが最後、僕は明日から禁酒する

次題

弱五郎・湯の宿、計四句まで、四月二十日まで

津奈木公民館へ

陶工のうた 小島正弘

寒冬のゆるみし気配早春の日射し背(そびら)に窓の番する

陶(すえ)つくものみなわが師、おのおのがもせる作の良きも奇しきも

続けましょうグループ学習

(赤崎婦人学級)



一月二十日から二月二十日までの十日間、赤崎小学校で婦人学級を開催しました。寒い時期でしたが、参加者(藤原秀代学級長外三十二名)は全員講師の話にうなずきながら熱心に学習していました。学習内容は、○親の生き方○子どもの生き方○子供の心理とつけ○人権を考えたよう○成人病について○バランスのとれた食生活○ゲームとレクリエーションなどでした。学級生の話によれば、これを機会に、今後は自主的に心のかようグループを組織して学習をつづけたいとのことでした。

寄贈お礼

津南中33年度卒業生
総合グラウンドに
記念植樹

このほど、昭和三十三年津南中学校卒業生、代表山口登氏から、運動公園に卒業記念樹として、ヒマヤシダーと榎の木をそれぞれ一本ずつ寄贈されました。ここに厚くお礼申し上げます。

津奈木民話

志崎鳥末

庄やんの 銭儲け算用 (四)
ごちそうをたくさん並べた棚の端を、ポンポンとたたきながら「さア安すか、さア安すか、今日は十銭均一ばい、さア売れた又売れた」と大声をあげると、
「ホウと鳴いている。庄やんは、びっくりしてとび起きて、大事な昨夜の売り上げ金を一杯詰めた箱を引きよせ開けて見て又びっくり、箱の中のお金は消えうせて、

一月のある日、婦人の手芸グループが出来たということ、一寸お邪魔して見た。就業改善センター二階和室の入口に近づくと、にぎやかな笑い声がひびいて、男性に一寸ためらう心境。中に入ると、十五、六名の婦人が、それぞれ編み物や縫い物をしている。口も動くが手もよく動くと言った状況である。このグループは昨年十月出来たばかりとか、現在会員二十数名、毎月一回の集まりで、集会日とその都度きめられていた。参加された方は、町中千々岩順子さん(T.E.L.二五三八)まで

木の葉と磯の貝ガラが一杯詰めてある。頭をかかえて地べたに座りこんだ庄やんは、はじめておとらやスクワラ達にだまされたことを知って、膝をたたいて口惜しがったがもうどうにもならない。庄やんは、ぶつぶつやきながら帰る支度を始めた。「やっぱ化けものだましも狸や狐が専門たい、わしゃアかなわんかなわん」とんだ庄やんの銭儲けの算用違いだったと云う昔話。 文責 堀二雄

生活改善はあなた自身から

生活会議推進協議会記録から

先月町公民館で、生活会議推進協議会の会議が開かれ、五十五年度の反省と五十六年度の目標設定について話し合いがなされた。その記録からいくつかひろって見ると。
一、結婚式に、御祝儀の八千円では、はしたでなかなか持つて行きにくい。
一、改善センターでの結婚式を早く考えてほしい。
一、葬儀の祭壇については、最も多くの意見が出された。
昭和五十五年度実践目標については、町民の協力が得られ

が、問題が多く今後前向きに検討したい。
一、葬式の花輪は、二本位ではどうか、地区内の親戚は原則として出さないが、二本に満たないときは、出し合せて贈ってはどうか。
一、病氣見舞のお返しはしないよう実行しているが、他の地区でやっている所がある。などの意見が出された。
昭和五十五年度実践目標については、町民の協力が得られ

歳時記

とりわくときの香も「そ桜餅」
久保万太郎「流寓抄」



お待ちしてます 手芸クラブ



たのまれスポーツから 自分から進んで行うスポーツへ

ほしい定期的な活動 もったいない大会終了後のチーム解散

にぎあつ各部落づいの ミニスポーツ大会

春の日差しをからだに受け、ますと自然に手足を伸ばしたくなる頃です。各地域、団体では新年度に向けていろいろな計画がなされる時期でもあります。
本町の社会体育も施設の拡充に伴ない発展の一途をたどっています。住民のスポーツ活動面の現状を述べてみます。
スポーツ行事(町大会・部落のミニスポーツ大会)をよく見かけます。いずれもからだを動かしている人達の姿は若さとにぎやかな歓声が包まれています。そしてすべての人が再び参加したいと希望し、世話役の苦勞の成果がよく表

万一にそなえ町民こそつて スポーツ傷害保険加入を

昨年は4人が保険金受給

現在加入されているスポーツ傷害保険の有効期限が3月31日で切れます。従って4月1日からのスポーツ活動は対象外となりますので新規に加入しなければなりません。
55年度も本町では4名の方が負傷され保険金が支払われました。安心してスポーツが出来るよう万一に備えて、ぜひ加入されるようお勧めします。
本町も年々スポーツ傷害保険に加入される方が増加しており、55年は二百名にもなりました。部落ごとでは内野が全住民の48%の加入率で町内のトップ、続いて染竹が40%、そして上下門、大泊、平国上等が30%を越えています。

本町のスポーツ同好会は48団体

県内は一万三千

会の運営は係を皆で分担
一人にまかせないで

個人でもグループでも定期的に運動を実施するとなればそれ相当の努力が必要です。
また、スポーツクラブや同好会、子供会等の各種団体の加入も忘れなく、保険手続き等の詳細については教育委員会までお問い合わせ下さい。
4月1日より活動される方は3月中に手続きされますように。書類は委員会にあります。
また、スポーツクラブや同好会、子供会等の各種団体の加入も忘れなく、保険手続き等の詳細については教育委員会までお問い合わせ下さい。
4月1日より活動される方は3月中に手続きされますように。書類は委員会にあります。

町民皆スポーツ ークラブをつくらう

栄養、運動、休養の三つをバランスよく生活に生かすことによつて健康、体力を維持増進させる事が出来ます。
特に運動面は毎日少しづつでもいいから、続けることが大切です。

お知らせ

○新年度になりますと役員さんの選出その他大変なことと思います。
体育協会の評議員会も例年通り開かれますので、体育部長、種目部長の選出は早目に。
○4月下旬・男子バレーボール春季選手権大会予定。
○5月中旬・35才以上のソフトボール大会、同じ日
○女子バレーボール大会予定
*部落でのミニスポーツ大会開催についての相談はいつでもどうぞ。

海洋スポーツ いづれ

このような光景

